

開催
報告

あいかわ発見 スタンプラリー

佐渡國
相山

ひなまつり



展示会場① 昭和23年(左)、同48年(右)のにぎやかな段飾り。(絹沢ラジオ店)



展示会場② めずらしい昭和初期の人形です。(ギャラリー和)



お茶会 色とりどりの着物を着た淡交会の皆さんがお茶を点ててくれました。



ひなまつり案内所 相川のご婦人方があたたかく迎えてくれました。



スタンプラリー スタンプラリーのスタンプは計14カ所に設置されました。



スタンプラリー景品 スタンプを5つ集めた人への景品。

相川 あいかわ らばん 版

第26号

2017年3月24日発行

発行：佐渡市世界遺産推進課

電話 0259-63-5136

FAX 0259-63-6130

編集：佐渡市世界遺産推進課

新潟県教育庁文化行政課

世界遺産登録推進室

3月3日から21日にかけての「佐渡國相川ひなまつり」に合わせて「あいかわ発見スタンプラリー」が同時開催されました。3月5日(日)にイベント会場に潜入してきましたので報告します！

当日は風もなく海もおだやかな天候で、春がもうそこまで来ていることが感じられる散策日和でした。まずは、ひなまつり案内所(ぼんぼこホール)へ立ち寄り、スタンプラリー専用のマップをもらい、ひなめぐりへ出発です。上町や下町の通りには、ひなまつの目印として桃色の幟が立ち、パンフレット片手に散策している人を時折見かけました。

江戸時代の貴重なひなから昭和時代の懐かしさを感じさせるひなまで、各展示会場には様々なひな人形が飾られていました。時代や作り手によって人形の顔立ちや髪型、着物などが異なり、そうした違いを楽しめるのもひなまつの醍醐味です。

しばらく散策した後、ホテル万長で開催されていたひなまつり特別のお茶会(主催Ⅱ裏千家淡交会佐渡支部)へお邪魔し、ひな人形が描かれた可愛らしい茶碗で美味しい抹茶をいただきました。

ひなめぐりを楽しみつつにゃんじースタンプを集め、スタンプラリーの景品も無事手に入れることができました。今年の景品は、にゃんじーのバッジや巾着袋、金塊ティッシュでした。

★重要文化的景観の範囲

相川の
どんなものを
守る?

重要文化的景観に選定されて…

その2

前号にひきつづき、国重要文化的景観に選定された相川地区について紹介します。前号では、重要文化的景観とは「地域にとつて欠かせない大切な景観を国の文化財として守る制度」であることを説明しました。今号では、実際に重要文化的景観として守ろうとしているものはどんなものなのか、具体的に紹介していきます。

文化的景観の範囲

文化的景観は、建物などを単体で文化財にする国宝や重要文化財とは違い、建物や川、道など様々なものの集合体である景観を丸ごと文化財に選定します。したがって、広い範囲が文化財に含まれます。相川の場合は、山手の鉾山遺跡から上町・下町の市街地まで約630ヘクタール（上の赤線で囲まれた部分）が範囲に含まれています。

文化的景観の守り方①

基本的には範囲内のすべての景観が、佐渡にとつて大切な景観として守る対象になります。守り方は次号で詳しく説明しますが、佐渡全域の景観に関する決まりごとを定めた「佐渡市景観計画」のなかで、相川の景観の特徴をふまえた相川専用のルールを作り、広範囲の景観を守ります。

建物を新築・改築する際には、このルールにそった工事をお願いしますが、基本的には今の姿を残しつつ変化をうまく受け入れていくことが目的です。

文化的景観の守り方②

選定範囲を守ると同時に、景観を特徴づけている重要なものを個別に守る仕組みがあります。これは、相川の方々にも協力いただいた調査によって特定した建物や道、川、坂道などで、文化財の専門用語で「重要な構成要素」と呼ばれています。これらについては、個別にルールをつくって他の構造物などよりも制限を多く設けていきます。そのかわり、維持・管理していくための支援をおこなうというものです。

相川の文化的景観の重要な構成要素にはどのようなものがあるのか、左頁で具体的に紹介しています。

より多くの人に知ってもらったために

現在は、こうした取組みや制度の仕組みをより多くの人に知ってもらうために、文化庁の支援を得ながら、解説看板の設置やパンフレット作成などを検討しています。

次号の「あいかわらばん」では、規制や支援について紹介します。

《国重要文化的景観》

佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観

景観そのものが文化財です。



相川の文化景観の重要な構成要素

調査によって相川の景観を特徴づけているものを定めて、とくに重点的な保護を図っていきます。



河川 鉱山町の形成と関わりが深く、人々の暮らしと密接なもの。(濁川、水金川、間切川、大仏川、海士町川)



集落・建物 鉱山町のたたずまいを残す集落や建物。(上町地区、鉱山社宅、上町・下町にある伝統的な町家など)



植生 相川に昔からあって景観を特徴づけているもので、鉱山との関わりが深いもの。(大安寺のタブ林、奉行所のクロマツ林)



寺・神社 鉱山町と関わりの深い寺や神社。(善知鳥神社、大山祇神社、大安寺、万照寺、百足山大権現など)



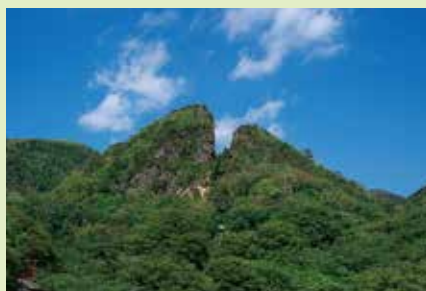
街路 鉱山町の形成や歴史と関わりの深い街路。(京町通り・上町の各通り、相川往還〈相川塩屋町～下戸村〉)



景勝地 鉱山町の形成や歴史と関わりが深く、まち全体を眺望できる場所。(春日崎)



坂道 鉱山町の形成や歴史と関わりが深く、人々の暮らしと密接なもの。(紋兵衛坂、厳常寺坂、長坂、西坂、下寺町への石段など)



鉱山の遺跡や施設 鉱山町相川を象徴する遺跡や施設。(道遊の割戸、佐渡奉行所跡など)

相川にとって大切なものや場所にゃ。



赤ん坊を抱えながらねこ流しの作業をする女性
『佐渡の国金堀の巻』(相川郷土博物館蔵)



鉱石の選別作業をおこなう女性たち
『佐渡鉱山高任撰鉱場』(株ゴールデン佐渡蔵)



相川の今昔

鉱山の女性

鉱山の労働者というと、たくましい男性の姿を思い浮かべる人が多いと思いますが、実は、相川では昔から多くの女性が鉱山で活躍していました。江戸時代、金銀を含む鉱石を選別する「石撰」という作業や、石臼ですり潰した鉱石を水に流して金銀を採取する「ねこ流し」という作業などは女性の仕事で、当時の絵巻にも、懷に赤ん坊を抱いてねこ流しをする人など多くの女性が描かれています。また、鉱夫の短命ゆえか、江戸時代の相川には女世帯が多く、文政9年の「相川町 町墨引」による職業別統計を見ると、鉱山関係の仕事や針仕事などで女性が家族を支えていました。近代以降も、鉱石の選別や荷運びの作業など、様々な場面で女性たちが活躍していました。

◆佐渡金銀山関連イベントの予定

イベント	日時と会場	備考
①にいがた 美しいまちなみフォーラム2017(基調講演/パネルディスカッション/取組み報告) 主催:新潟県、新潟県まちなみネットワーク/共催:佐渡市/後援:NPO法人全国町並み保存連盟 同時開催 ②第12回新潟県まちなみネットワーク相川大会(まちあるき)	5月28日(日) ①10:00~14:00 あいかわ開発センター(相川栄町1) 5月27日(土) ②14:15~17:00 相川郷土博物館前集合、相川京町を散策	①基調講演「コミュニティデザイン~人をつなぎ地域をつくる~」(講師:studio-L代表 山崎亮氏) 定員200名、無料、要申込 ②参加費 500円(保険代含む)、定員 50名、要申込 【申込み方法・問合わせ先】 氏名・住所・電話番号・参加するイベント名をFaxまたはメールでご連絡ください。 申込先:新潟県庁都市政策課広域都市政策班 電話 025-280-5428 Fax 025-285-0624 メールngt160010@pref.niigata.lg.jp 申込期限:5月12日(金)

第27号の予告

◆活動報告 ほか

次回5月22日
刊行予定



今月のにゃんじー



にゃんじーの 巾着袋

スタンプラリーの景品として
にゃんじー巾着袋を作成しました。